



とちりハ通信

第81号
令和8(2026)年
3月

令和7(2025)年度患者満足度調査の結果について

当センターでは、6～12月にかけて、サービス向上、職員の意識改善につなげるために、患者さんや家族の皆さんにアンケートを実施しましたので、その結果の概要を報告します。

1 外来部門 (回答数：109名 調査期間：11/10～11/21)

| 満足度の上位5項目 | 満足・やや満足の割合 (%) |
|----------------------------|----------------|
| 1 リハビリ職員の対応 | 90.6 |
| 2 事務職員の対応 | 88.9 |
| 3 看護師の対応 | 88.8 |
| 4 医師との対話 | 83.8 |
| 5 プライバシーの保護 その他のスタッフの対応 | 82.5 |

〈自由記述〉

- ・リハビリが充実している
- ・先生が話をよく聞いてくれる
- ・システム変更に好印象
- ・働いている方みんなが元気で明るく接しやすい
- ・なかなか予約が取れない
- ・予約していても1時間以上待つことがある
- ・待ち時間に時間を潰せるものが少ない(テレビ・雑誌など)

2 入院部門 (回答数：75名 調査期間：6/2～12/26)

| 満足度の上位5項目 | 満足・やや満足の割合 (%) |
|---------------------|----------------|
| 1 リハビリ職員の対応 | 90.7 |
| 2 リハビリテーション | 82.4 |
| 3 看護師の対応 事務職員の対応 | 81.1 |
| 4 その他のスタッフの対応 | 78.7 |
| 5 精神的なケア | 77.4 |

〈自由記述〉

- ・リハビリの内容を患者の希望に沿って可能な限り柔軟に変更してくれた
- ・先生方や看護師さん、その他のスタッフさんとても親しみやすく対応してくれて安心して過ごせた
- ・食事とてもおいしく味付けが工夫されていると感じた
- ・食事のメニューを多くしてもらいたい
- ・お風呂かシャワーの回数はもう少し増やしてほしい

・各職員の対応について、70%以上の方から「満足」「やや満足」との回答をいただきました。

・満足度が低かった項目については、「診察までの待ち時間」「食事の内容」などがありました。

◎いただいたご意見・ご要望については、より良いサービスの提供・運営改善のため参考にさせていただき、今後の満足度向上に活かしてまいります。

また、お気付きの点がありましたら、当センター1階のウェルネスゲートに設置してありますご意見箱や当センターのホームページのお問い合わせなどにより、ご意見・ご要望をいただけますと幸いです。

電子カルテシステムの更新について

令和7年10月に電子カルテシステムを更新し、株式会社ソフトウェア・サービスの製品を導入しました。新たな機能の追加により、患者さんへのサービス向上に加え、職員の業務の負担軽減・効率化が図られました。

●オールインワン型のシステム

新システムの特徴は、電子カルテに加え、検査・画像・リハビリ・物品管理など、各種部門システムを同一ベンダーが提供する「オールインワン」で利用できる点にあります。これにより、システム間の連携が円滑になり、保守サポートの一元化や、バージョンアップ・機能追加への一貫した対応が可能となります。



再来受付機

●外来待合に待受表示板

外来診療の利便性向上を目指し、「待受表示板（診療呼出表示システム）」を導入しました。

これまでは、「自分の順番が分かりづらい」「呼ばれるのを聞き逃してしまいそう」といったお声をいただくことがありました。表示板導入により、待ち時間の不安を軽減し、よりスムーズな受診環境を提供することを目指しています。



待受表示板

●モバイルカルテ

モバイル端末（iPhone）を活用したモバイルカルテを導入しました。主に病棟業務において、よりスムーズかつ柔軟な記録・情報共有が可能になりました。



とちリハ病院研修会について

令和7年11月18日に『とちリハ病院研修会』を開催しました。本年度は「子どもたちの“歩く”を応援する」をテーマにわかくさ特別支援学校の体育館で開催し、児童発達支援事業所、医療機関、行政機関等から60施設70名の参加がありました。

テーマ「子どもたちの“歩く”を応援する」

- ① 子どもの歩き方から診る小児特有の整形疾患
整形外科医長 林 志賢
- ② 子どもに対する理学療法の診かたと考え方
理学療法士 堤崎 宏美
- ③ 子どもの歩行障害に対する理学療法の実際
理学療法士 小川 澄恵



小児特有の疾患（扁平足、^{そくわんしょう}側彎症等）、子どもに対するリハビリのポイント、実際のリハビリの様子を講演し、参加者の皆様から、とても参考になったとの評価をいただきました。

今後も当センターの専門性を活かし、地域へノウハウの還元や情報提供ができるよう研修会を開催して参ります。



プランターを設置いただきました（わかくさ特別支援学校）



令和7年12月2日（火）にわかくさ特別支援学校の児童の皆さんが、パンジーとビオラのプランターを届けてくださいました。

プランターには、児童の皆さんが手作りしてくださった校名入りのプレートも添えられており、訪れる方々の目を楽しませてくれました。



リメイク帽子を寄贈いただきました（県社会福祉協議会）



令和7年12月4日（木）に県社会福祉協議会よりリメイク帽子を寄贈いただきました。

リメイク帽子は、ボランティアの方が24時間テレビのチャリティーTシャツをひとつひとつ手縫いでリメイクした帽子です。こども療育センターや駒生園、外来等にて配布させていただきました。子どもたちはいただいた帽子を被り楽しそうにしていました。





楽しいクリスマス会(こども療育センター)

令和7年12月22日にこども療育センターでクリスマス会が開催されました。センターのクリスマス会には、毎年遠い国からサンタさんがやって来てくれます。子どもたちはクリスマスツリーを飾り、また、星や雪の結晶でデイルームをキラキラにしました。

美味しくケーキを頂いた後、保育士のかげ声で「サンタさ〜ん」と大きな声で呼びました。するとシャンシャンシャンという鈴の音が聞こえてきて…二本足のトナカイとともに、真っ白なお髭のサンタさんが現れました！実は、何人かの子どもたちはサンタさんの正体に気づいています。でも、決してそこには触れない大人の対応でサンタさんに一人ひとり大きな袋からプレゼントをもらいました。

26日にはクリスマスイベントとして、つぼみ座によるパネルシアターや人形劇の公演が行われました。つぼみ座の皆さんは、クリスマスにちなんだ「赤鼻のトナカイ」や「10人のサンタ」などたくさんの演目を行ってくれました。短いお話をテンポ良く進めていただき、子どもたちは楽しい時間を過ごしました。



子どもたちに語りかけるサンタさん



スポーツ大会に参加しました

福利厚生の一環として、県の職員厚生課が主催しているスポーツ大会（ソフトボール・ワンタッチバレー）に職員有志のチームが参加しました。

ワンタッチバレーでは念願の1勝とはなりませんでしたが、1セットを奪取することができました。ソフトボールでは、トーナメント戦を勝ち上がり第3位となりました。

楽しく汗をかくことができ、親睦を深める良い機会となりました。



(発行) 地方独立行政法人
栃木県立リハビリテーションセンター
管理部総務課

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1
TEL 028-623-6101 (代表)
FAX 028-623-6151
ホームページ <https://tochigi-riha.jp/>



©本冊子はユニバーサルデザインフォントを使用しています。
※ユニバーサルデザインフォント…年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、さまざまな人が読みやすく、誤読されにくい書体です。